

古くて新しきもの、、、



おきなわFB短信 (22)

(1分間で読めます。)

平成 21 年 12 月 21 日 (月)

机の上に帝国データバンクの全国企業倒産集計 (2009.11) と東京商工リサーチの倒産月報 (H21.11) が届いている。倒産件数は、緊急保証制度や返済条件の緩和などにより 4 ヶ月連続の前年同月比減少。負債総額は、ロプロや穴吹工務店の大型倒産などで 5 カ月ぶりの前年同月比増加であった。

倒産の原因は個々の場合にはそれぞれの態様と理由はあるが、総括して言えば環境変化への対応ができなかった企業とういうことに尽きる。

榊ユーハイム社長の河本武氏が書かれた「企業は人なり」という文章の中で、1995年の阪神・淡路大震災の後、ブランドの復活とユーハイムの基本理念の再構築に取組まれた折のこと、ドイツのトップデザイナーであるペーター・シュミット氏との出会いと「新しくして、新しきものはやがて滅ぶ。古くして古きもの、また滅ぶ。古くして新しきもの、永久に栄える」と言うドイツの格言を紹介されていた。(Board Room Review 74 September 2009 日本取締役協会)

企業の存続とは極めて難しいことで、最近、事業所統計を使って概算したところ、現存の事業所の平均年は 23.9 年 (沖縄は 16.7 年) であった。

しかし、全国約 3 百万社のうちには約 2 万社が 100 年企業と数は少ないが、人間の平均寿命をはるかに超えて存続していることもある。

長く存続している企業は、経営努力を重ね、事業を革新し、環境の変化に対応して日々新しく生き残っている。

正に「古くて新しきもの、永久に栄える」ということである。

次回のファミリービジネス研究所沖縄本部の地区会議を、福岡本部と合同で沖縄の北部で開こうという提案が東京本部の小西先生と大澤様からありました。

スケジュールの概要は次の通りです。具体的に決まりましたらご案内致しますので、企業存続の上で、何かを考えさせる有意義な会議となると思いますので是非ともご参加下さい。

平成 22 年 2 月 21 日 (土曜日)

13:30— 比嘉会長によるウェルカムスピーチ

13:40— 沖縄 FB オーナーによる基調講演 未定 14:40~15:00 休憩

15:00— 福岡 FB オーナーによる基調講演 未定 16:00~16:20 休憩

16:20— FB に関する自由討議 (事業承継、地域における役割、今後の九州沖縄の合同活動等) 18:00 終了

18:30— ディナー (沖縄伝統芸能の方のスピーチ) ⇒琉球漆器の前田光胤先生
平成 22 年 2 月 22 日 (日曜日)

懇親ゴルフ (または自由観光、バスケットボール(うるま市)もあります) 後解散